

数量計算調書

1工区

計 算 調 書

当初・変更

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
水路土工						
床掘		土積計算書より	6.7	7	m3	
埋戻投入		5.1/0.9=	5.7	6	m3	
埋戻		土積計算書より	5.1	5	m3	
法面仕上げ	切土	土積計算書より	6.7	7	m2	

計算調書

当初・変更

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算式	数量	総量	単位	備考
開渠工						
BF-500(ジョイント型)布設	基礎碎石 $0.66 \times 0.1 \times 10 = 0.66\text{m}^3/10\text{m}$ L=2.0m/本	$5.75\text{[m]}=$	5.75	5.8	m	
ヒューム管布設	$\Phi 600$ L=2.43m/本	$2.43\text{[m]}=$	2.43	2.4	m	
基礎碎石	t=10cm	$0.6\text{[W]} \times 2.43\text{[L]}=$	1.46	1.5	m ²	
BF接続工	500型	1[箇所]=	1.0	1	箇所	G1000
HP接続工	600型	1[箇所]=	1.0	1	箇所	G1001
BF補強工	500型	1[箇所]=	1.0	1	箇所	G1002
止水壁		1[箇所]=	1.0	1	箇所	G1003

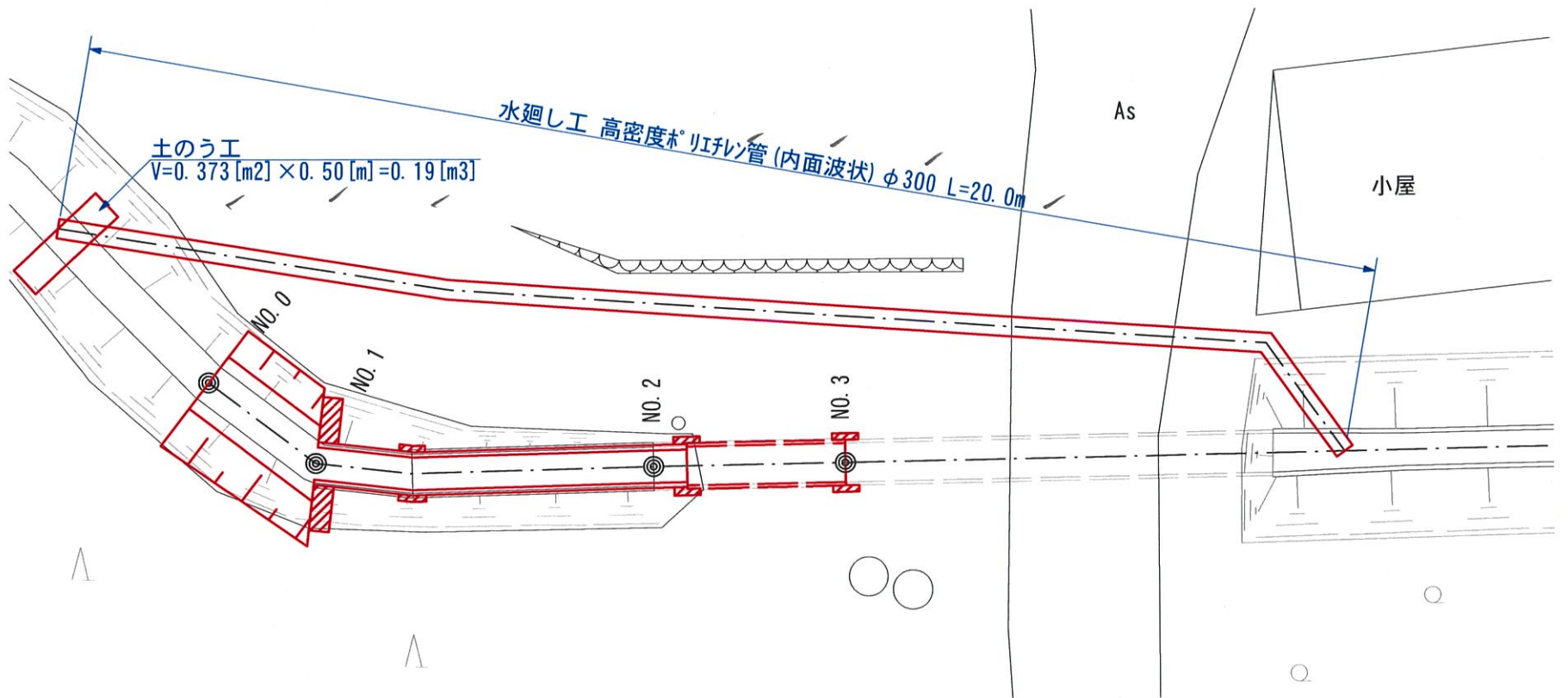
計算調書

当初・変更

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算式	数量	総量	単位	備考
産業廃棄物処理工						
廃材運搬	L=11.9km	二次製品とりこわしと同量	0.99	1.0	m ³	
木くず運搬	L=11.9km	別紙 倒木木材処分量算出調書より	0.26	0.3	空m ³	
廃材処理費(二次製品)	(株)那須屋興産	$0.99^{[m^3]} \times 2.35^{[t/m^3]} =$	2.33	2.3	t	
木くず(幹)	(株)那須屋興産	別紙 倒木木材処分量算出調書より	0.11	0.1	t	
木くず(根)	(株)那須屋興産	別紙 倒木木材処分量算出調書より	0.02	0.1	t	
準備費						
立木撤去		1 ^[本] =	1.0	1	本	G1004

計画平面図

S=1/100



農林水産省

土地改良工事積算基準 (土木工事)

令和4年度

VI. 土地改良事業等請負工事仮設材経費算定基準の運用事項
(仮設材損料の積算)

損耗率

コルゲートパイプ等を仮設資材として使用する場合の損耗率を示されたい。

仮設名	仮設材名	設置期間別 1現場当たり損耗率(%)						摘要
		1ヶ月未満	3ヶ月未満	6ヶ月未満	1年未満	2年未満	3年未満	
土 仮 締 切 橋 場 保 護 柵 等	木材	15	25	40	50	75	100	A条件
	〃	50	65	80	100	100	100	B条件
給 排 水 回 路 等	鋼材	10	10	20	30	50	70	
	合成樹脂管・ホース	30	45	55	65	75	85	
保 安 施 設 等	鋼管・ガス管	10	10	20	30	—	—	
	鋼製コルゲートパイプ	30	45	55	65	75	85	
	コルゲート管							50
	シート							30
	シート ロープ							20

備考 1. 摘要欄のA条件、B条件の判定は次による。

A条件：足場、支保、防護柵（岩砕の飛散を受けない）等、通常の条件で使用する場合。

B条件：土留、仮締切、仮橋、防護柵（岩砕の飛散を受ける）等、過酷な条件で使用する場合。

2. 木材で再使用不可能な場合、又は長さ2m未満の木材を使用する場合は、全損扱いでよい。

3. 土留等の仮設におけるボルト、ガスガイ、釘、鉄線等は全損扱いでよい。

4. タイロッドは1工事全損としスクラップ控除とする。

5. 合成樹脂管・ホースは、硬質ポリ塩化ビニル管・塩化ビニルホース・高密度ポリエチレン管を対象とする。

6. 上表は仮設材経費算定基準に示す資材以外に適用する。

グ ル ー プ 単 価

単価表

G1004

立木撤去

100 本当り

レベル4 (細別)	レベル5 (規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
		令和4年度版 治山林道必携より				
特殊作業員 ✓	伐倒 ✓	0.42 ^[人] = ✓	0.42 ✓	0.42 ✓	人	
普通作業員 ✓	" ✓	0.42 ^[人] = ✓	0.42 ✓	0.42 ✓	人	
諸経費率 ✓	" ✓	6 ^[%] = ✓	6 ✓	6 ✓	%	
特殊作業員 ✓	枝払 ✓	0.28 ^[人] = ✓	0.28 ✓	0.28 ✓	人	
普通作業員 ✓	" ✓	0.28 ^[人] = ✓	0.28 ✓	0.28 ✓	人	
諸経費率 ✓	" ✓	8 ^[%] = ✓	8 ✓	8 ✓	%	
特殊作業員 ✓	玉切 ✓	0.23 ^[人] = ✓	0.23 ✓	0.23 ✓	人	
普通作業員 ✓	" ✓	0.23 ^[人] = ✓	0.23 ✓	0.23 ✓	人	
諸経費率 ✓	" ✓	9 ^[%] = ✓	9 ✓	9 ✓	%	
普通作業員 ✓	片付 ✓	0.51 ^[人] = ✓	0.51 ✓	0.51 ✓	人	
諸経費率 ✓	" ✓	1 ^[%] = ✓	1 ✓	1 ✓	%	

令和4年版

治山林道必携

積算・施工編

【上巻】

令和4年8月

1-2-3 (参考歩掛) 伐木処理

(1) 適用範囲

本歩掛は、スギ、ヒノキ及びカラマツの人工林において、チェーンソー、その他の人力作業及び機械により実施する伐木処理に適用する。

(2) 施工歩掛

1) 選木

選木歩掛は、次表を標準とする。

選木歩掛

(100本当たり)

名称	単位	数量	摘要
特殊作業員	人	0.16	
普通作業員	"	0.16	
諸雑費率	%	4	

備考 1 本歩掛には、伐倒対象立木を選木し、表示する工程を含む。

2 諸雑費は、ナンバーテープ等の消耗品の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

2) 伐倒

伐倒歩掛は、次表を標準とする。

伐倒歩掛

(100本当たり)

名称	単位	平均胸高直径					摘要
		10cm未満	10cm以上 16cm未満	16cm以上 22cm未満	22cm以上 28cm未満	28cm以上	
特殊作業員	人	0.23	0.32	0.42	0.52	0.63	
普通作業員	"	0.23	0.32	0.42	0.52	0.63	
諸雑費率	%	6 合計の6%					

備考 1 本歩掛には、伐倒木を地面に引き落とす工程及び伐倒木の移動を抑える程度までの枝払をする工程を含む。

2 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

3) 枝払

伐倒木の枝払を行う歩掛は、次表を標準とする。

枝払歩掛

(100本当たり)

名称	単位	平均胸高直径					摘要
		10cm未満	10cm以上 16cm未満	16cm以上 22cm未満	22cm以上 28cm未満	28cm以上	
特殊作業員	人	0.21	0.24	0.28	0.31	0.35	
普通作業員	"	0.21	0.24	0.28	0.31	0.35	
諸雑費率	%	8					

備考 1 本歩掛には、伐倒木を丸太に玉切る作業及び丸太を片付ける作業の支障とならないように切り落とす程度までの工程を含む。

2 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費、携帯手動ウインチの損料等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

4) 玉切

伐倒及び枝払した材の玉切を行う歩掛は、次表を標準とする。

玉切歩掛

(100本当たり)

名称	単位	平均胸高直径					摘要
		10cm未満	10cm以上 16cm未満	16cm以上 22cm未満	22cm以上 28cm未満	28cm以上	
特殊作業員	人	0.18	0.20	0.23	0.26	0.29	
普通作業員	"	0.18	0.20	0.23	0.26	0.29	
諸雑費率	%	9					

備考 1 本歩掛には、小運搬及び集積できるように、一定の長さの丸太に玉切るまでの工程を含む。

2 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

5) 片付

玉切した丸太を片付ける歩掛は、次表を標準とする。

片付歩掛

(100本当たり)

名称	単位	平均胸高直径					摘要
		10cm未満	10cm以上 16cm未満	16cm以上 22cm未満	22cm以上 28cm未満	28cm以上	
普通作業員	人	0.30	0.39	0.51	0.62	0.71	
諸雑费率	%	1					

備考 1 本歩掛には、丸太を水平方向に並べ、転落、流出しないように集積または固定し整理する工程及び20m程度の小運搬を含む。

2 諸雑費は、木回し（フェリングレバー）等の損料であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する。

6) 造材（機械造材プロセッサ以外）

(10m³当たり)

名称	単位	平均胸高直径					摘要
		10cm未満	10cm以上 16cm未満	16cm以上 22cm未満	22cm以上 28cm未満	28cm以上	
特殊作業員	人	0.83	0.78	0.63	0.52	0.49	
普通作業員	人	0.83	0.78	0.63	0.52	0.49	
諸雑费率	%	4					

備考 1 本表は、伐倒木を枝払いし、玉切る工程に適用する。

2 本表は、スギの工程であり、ヒノキの場合には+0.03人、カラマツの場合には-0.03人、特殊作業員及び普通作業員の数値をそれぞれ補正する。

3 諸雑費は、チェーンソーの損料及び燃料費等の費用であり、労務費の合計額に上表の率を乗じた金額を上限として計上する（当該費用を別途積み上げ等により計上する場合は上表の率は使用しない。）。

4 チェーンソー以外の機械により造材を行う場合の機械損料及び燃料費等は、上表の率を使用せず別途積み上げ等により計上する。

7) 機械造材（プロセッサ）

(10m³当たり)

名称	規格	単位	数量	摘要
プロセッサ運転	ベースマシン0.45m ³	h	1.9	標準
	ベースマシン0.28m ³	h	2.7	

備考 1 本表は、プロセッサまたはハーベスタを用いて行う造材（枝払い・玉切り）の作業に適用する。

2 ベースマシン0.28m³は、当該作業地または当該作業地に至るまでの道路幅員、林地傾斜等によりベースマシン0.45m³が適用しがたい場合に適用する。

3 プロセッサ運転の経費は、運転手（特殊）の人件費、機械損料、燃料費等を積上げにより計上する。

8) 集材（車両系）

(10m³当たり)

平均胸高直径	名称	単位	集材距離					
			200m 未満	200m 以上 400m 未満	400m 以上 600m 未満	600m 以上 800m 未満	800m 以上 1,000m 未満	1,000m 以上
10cm未満	運転手（特殊）	人	0.52	0.55	0.58	0.61	0.65	0.67
	普通作業員	人	1.04	1.11	1.17	1.23	1.29	1.34
10cm以上 16cm未満	運転手（特殊）	人	0.48	0.51	0.54	0.57	0.60	0.62
	普通作業員	人	0.97	1.03	1.09	1.14	1.20	1.25
16cm以上 22cm未満	運転手（特殊）	人	0.43	0.45	0.48	0.50	0.53	0.55
	普通作業員	人	0.85	0.91	0.95	1.01	1.06	1.09
22cm以上 28cm未満	運転手（特殊）	人	0.37	0.39	0.42	0.44	0.46	0.48
	普通作業員	人	0.75	0.79	0.83	0.88	0.93	0.96
28cm以上	運転手（特殊）	人	0.32	0.34	0.36	0.38	0.40	0.42
	普通作業員	人	0.65	0.69	0.73	0.77	0.81	0.83

備考 1 本表は、9) 集材（架線系）の備考1に示す以外の車両系機械による集材の工程及び集材地点までの木寄等の工程に適用する。

2 本表は、定性間伐の工程であり、列状間伐の場合には運転手（特殊）及び普通作業員の数値をそれぞれ-20%補正する。

3 集材に用いる機械の損料及び燃料費等は、使用する機械や作業実態等を考慮し別途計上する。

4 集材距離は、作業地の中心地点からトラックへの積み込み地点又は仮置場までの距離とする。

数 量 計 算 調 書

2工区

計 算 調 書

当初 - 変更

レベル4(細別)	レベル5(規格)	算 式	数量	総量	単位	備考
町単独土地改良工事 富田1組地区2工区						
道路土工						
床掘	(小規模土工)	別紙【土積(法面)計算書】より	31.00			
	▲アスファルト取壊し量	アスファルト廃材運搬と同量	▲ 0.20			
	計		30.80	31	m3	SZA161
埋戻土投入	(小規模土工)	$6.8[\text{m}^3:\text{【土積(法面)計算書】より}]/0.9[\text{換算係数}]=$	7.56	8	m3	SZA125
埋戻		別紙【土積(法面)計算書】より	6.80	7	m3	S0008
碎石投入	(小規模土工)	$0.86[\text{m}^3:\text{碎石埋戻量}] \times 1.20[\text{割増率}]=$	1.03	1	m3	SZA125
碎石	再生クラッシャーランRC-40	碎石投入量と同量	1.03	1	m3	T7096
碎石埋戻		別紙【土積(法面)計算書】より	0.86	1	m3	S0008
残土運搬	L=2.0km	$30.8[\text{m}^3:\text{床掘量}] - 7.56[\text{m}^3:\text{埋戻投入量}]=$	23.24	23	m3	SZA105
残土整地		残土運搬量と同量	23.24	23	m3	SZA109

土積（法面）計算書

（ 当初 ・ 変更 ）

測 点	距 離 (m)		切 土 (m3)					盛 土 (m3) ⑦ 換算係数 0.9						法面仕上げ(m ²)						
			C1:掘削		C2:床掘		計	B1:盛土		B2:埋戻		計	換算土量	B3:碎石埋戻		CL:切土面仕上		BL:盛土面仕上		
	断面	①土量	断面	②土量	③=①+②	断面		④土量	断面	⑤土量	⑥=④+⑤			⑥/⑦	断面	⑤土量	法長	面積	法長	面積
							点間					平均								
No.0		5.21			2.1	10.9	10.9			0.4	2.1	2.1	2.3		0.05	0.26				
No.1	10.41	8.50			1.7	14.5	14.5			0.4	3.4	3.4	3.8		0.05	0.43				
No.1+6.59	6.59	3.30			1.7	5.6	5.6			0.4	1.3	1.3	1.4		0.05	0.17				
計	17.00				31.00	31.00			6.80	6.80	6.80	7.50		0.86						

練ブロック積工数量計算書 1 / 2

(ブロック積工)

富田1組 地区 2 工区

(当初・変更)

施工区間		施工延長			ブロック高(全体H)			勾配 1:n	土台高 mm	裏コン厚 H (m)	S L 長			練積ブロック擁壁面積集計				裏コン 数量	使用生コ ン数量	備考
起点	～ 終点	天端側	土台側	平均長	起点側	終点側	平均高				起点側	終点側	平均長	t=0.00m	t=0.10m	t=0.15m	t=0.20m			
No.0	～ No.1	10.11	10.10	10.11	1.59	1.17	1.38	0.30	250	0.15	1.40	0.96	1.18			11.93	1.79	4.06		
No.1	～ No.1+6.59m	6.29	6.27	6.28	1.17	1.26	1.22	0.30	250	0.15	0.96	1.05	1.01			6.34	0.95	2.16		
計		16.40	16.37	16.39												18.27	2.74	6.22		

練ブロック積工数量計算書 2/2 (裏込工)

富田1組 地区 2工区

(当初-変更)

施工区間		施工延長			ブロック 勾配	裏込 勾配	S L 長			ブロック高(H)		土台高 h1 mm	土台高 h2 mm	裏込天 端幅(a) mm	裏込控 除h	裏込天 端控除h	裏込工(全体)			良質土埋戻			裏込襖			備考
起点	~ 終点	天端側	土台側	平均長			起点側	終点側	平均長	起点側	終点側						BP単量	EP単量	数量	BP単量	EP単量	数量	BP単量	EP単量	数量	
No.0	~ No.1	10.11	10.10	10.11	0.3	0.2	1.40	0.96	1.18	1.59	1.17	250	150	300	0.30	0.300	0.522	0.333	4.32	0.241	0.218	2.32	0.281	0.115	2.00	
No.1	~ No.1+6.59m	6.29	6.27	6.28	0.3	0.2	0.96	1.05	1.01	1.17	1.26	250	150	300	0.30	0.300	0.333	0.372	2.21	0.218	0.223	1.38	0.115	0.149	0.83	
計		16.40	16.37	16.39															6.53			3.70			2.83	

グ ル ー プ 単 価

